

健001	項目名	市立保育園運営費	
予算書項目	市立保育園運営費	ページ	29
年度	R2	所 属 名	健康こども部 こども家庭課
会計名	一般会計		
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	保育所費		
(単位：千円)			
補正前額	577,838		
要求額	5,751		
総務部長段階査定額	5,728	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,728	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	1,740
		贈収入	1,560
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	3,300	
	一般財源	2,428	
	計	5,728	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】管理企画係 0857-30-8236 【10次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 市立保育園22園を運営している。 【事業の目的及び効果】 保育業務による子育て支援の実施。 【事業の内容】 ・県道本鹿高福線の拡幅工事（令和3年1月から3月・鳥取県施工）に伴う、散岐保育園支障物撤去・移設業務委託（工期：令和2年10月から令和2年12月） 事業費：3,300千円 令和3年度 県道拡幅工事施工後、散岐保育園外構再整備 ・旧城北保育園の廃園に伴う廃棄物処理業務委託（工期：令和2年11月中） 事業費：2,428千円 （旧園舎は12月1日より、放課後児童クラブとして活用する予定） ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金。 ※その他財源の諸収入は、移転補償費。			

健002	項目名	保育所緊急整備事業費補助金	
予算書項目	私立保育園運営施設助成費	ページ	29
年度	R2	所 属 名	健康こども部 こども家庭課
会計名	一般会計		
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	保育所費		
(単位：千円)			
補正前額	376,375		
要求額	69,349		
総務部長段階査定額	69,349	その他財源の内訳	
市長段階査定額	69,349	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	60,487	
	地方債	16,100	
	その他	0	
	一般財源	△ 7,238	
	計	69,349	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】管理企画係 0857-30-8236 【10次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 近年の保育需要の増大により保育ニーズの低年齢化が進むなか、保育園の収容力不足の解消や幼保連携の推進を図るため、対応施設の整備が必要となっている。 【事業の目的及び効果】 国の「保育所等整備交付金」や「認定こども園施設整備交付金」、「安心こども基金」を活用して、民間法人の施設整備に対する助成を行い、保育園の定員を増加させ、待機児童対策や、施設の老朽化等に対する整備による園児・保育所等の安全性の確保を行う。 【事業の内容】 ①国の交付金交付要綱改正による交付基準額の増に伴う助成額の増。 ・（福）鳥取福祉会：むつみ保育園改築事業 （見込）148,903千円－（補正前）145,230千円＝ 3,673千円 ・（学）修立幼稚園：（仮）青翔開智幼稚園・保育園整備事業 （見込）238,879千円－（補正前）216,908千円＝ 21,971千円 補正額：25,644千円 ②小規模保育事業所創設に向けた整備に対する助成。 ・（社）地域サポートネットワークとっとり：コモド第三保育園・瓦町（定員12人） 助成額：43,705千円			

健003	項目名	病児・病後児保育事業費		
予算書項目	病児・病後児保育事業費	ページ	29	所 属 名
年度	R2	健康こども部 こども家庭課		
会計名	一般会計			
款	民生費			
項	児童福祉費			
目	保育所費			
(単位：千円)				
補正前額	114,930			
要求額	20,751			
総務部長段階査定額	20,751	その他財源の内訳		
市長段階査定額	20,751	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	補正額			
財源内訳	国・県支出金	13,834		
	地方債	5,500		
	その他	0		
	一般財源	1,417		
	計	20,751		
行財政改革課処理欄				
事業の概要 【問合せ先】管理企画係 0857-30-8236 【10次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 病児保育事業は、鳥取市子ども・子育て支援事業計画において、地域子ども・子育て支援事業として位置付けられている。利用者数は近年増加で推移している。 【事業目的及び効果】 保護者が就労している場合等において、児童が病気の際に自宅での保育が困難な場合があり、こうした保育需要に対応して、病気又はその回復期にある児童を一時的に預かる事業を実施し、保護者の子育てと就労等の両方を支援し、児童福祉の増進を図るもの。 【事業の内容】 病児・病後児保育施設創設に向けた整備に対する助成。 ・(社)地域サポートネットワークとっとり：コモド第三保育園・瓦町(定員3人) 助成額：20,751千円				

健004	項目名	妊娠・出産包括支援事業費		
予算書項目	こども家庭支援事業費	ページ	29	所 属 名
年度	R2	健康こども部 こども家庭相談センター		
会計名	一般会計			
款	民生費			
項	児童福祉費			
目	児童福祉総務費			
(単位：千円)				
補正前額	6,310			
要求額	1,500			
総務部長段階査定額	1,500	その他財源の内訳		
市長段階査定額	1,500	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	補正額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,500		
	計	1,500		
行財政改革課処理欄				
事業の概要 【問合せ先】こども家庭相談センター 0857-20-0122 【10次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 家族等から十分な援助が受けられず、かつ、体調不良や強い育児不安等がある母子を対象に、生後4か月までの乳児と母親が宿泊や日帰りして保健指導や育児相談、育児手技等のケアを受ける「産後ケア事業」を行い、安心して妊娠・出産・育児が行える環境を整え、子育てを支援している。 【事業の目的及び効果】 鳥取県助産所施設・設備整備事業に呼応し、本市の補助事業を実施することにより産後ケア事業を実施する助産所の増加・充実を図り、産婦が心身のケアが行える環境整備を促進する。 【事業の内容】 ○鳥取市助産施設・設備整備事業補助金 事業実施主体：助産所開設者 補助基準額：助産所1か所あたり6,000千円(補助額：1,500千円) 補助対象経費：建物の増改築、付随する設備の設置等に要する経費他 補助率：市：1/4(県直接補助：1/2、事業者負担 1/4)				

健005	項目名	若草学園管理運営費(新型コロナウイルス感染症対策)
------	-----	---------------------------

予算書項目	市立若草学園運営費	ページ	31
-------	-----------	-----	----

所属名	健康こども部 こども発達支援センター
-----	-----------------------

年度	R2
----	----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	児童福祉費
目	知的障害児通園施設費

(単位：千円)

補正前額	0
------	---

要求額	380
-----	-----

総務部長段階査定額	380
-----------	-----

市長段階査定額	380
---------	-----

区分		補正額
財源内訳	国・県支出金	380
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	0
	計	380

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄

<p align="center">事業の概要</p> <p>【問合せ先】発達支援係 0857-30-8561</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルス感染拡大が続くなか、4月16日に全国に特別措置法に基づく緊急事態が宣言され、身近での感染確認や市域における増加傾向から、より一層の感染対策が求められている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 若草学園の利用者、職員等の新型コロナウイルス感染防止を図り、障がい児及びその家族を支えるために必要なサービスを継続的に提供する。</p> <p>【事業の内容】 国の緊急経済対策により県が実施する、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（障がい福祉サービス等）を活用し、更なる徹底した感染症対策を実施。 ○感染防止対策品 248千円 （マスク・消毒・飛散防止パネル・非接触体温計など）の充実 ○保育室等空調設備の消毒清掃 132千円</p>
--